

2020 年度実施概要

学校名

姫路市立家島中学校

採択活動名

自分たちのふるさとの海と伝統を守ろう

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海の日体験セーリング	1、3 年	総合特活保体
2. 家島近海について知ろう	2 年	総合
3. 汽水域に住む生体の調査	2 年	総合
4. 家島に感謝する日	全学年	特活
5. 総合学習発表会	2 年	総合

取り組みの概要

本校は瀬戸内海に浮かぶ大小 40 余りの島々で構成される家島諸島の中の家島本島にある離島の小規模校である。「地域の一員としての自覚を高め、ふるさと意識を醸成する。」「環境保全に主体的に関わろうとする生徒の育成。」「海洋文化を受け継ぎ、広げていこうとする生徒の育成」を目標として、海洋教育カリキュラムの開発を推進した。また、既存の学習や行事を発展、改善することにも取り組んでいる。

「海の日体験セーリング」では、姫路ヨット協会の指導の下、実際にヨットに乗船しての操船の体験を行った。そこで、ヨットの構造や帆走の原理、家島とヨットの関係について学んだ。また、姫路海上保安部により「海の安全」について講習を受け、実際の生活にも関係する海辺での安全確保のための知識を得た。

「家島近海について知ろう」では、漁業協同組合、船舶会社などの協力のもと、地元の海の産業について知る機会として、漁業の見学、地引網体験、調理実習、地域の家島諸島巡りを行った。事後学習として、体験を作文にまとめ文集を作成した。

「汽水域に住む生体の調査」では、四方海に囲まれ、海に直結する島の環境を知るために、汽水域で見られる生き物の生態を調査し、観察を行った。また、自然の偉大さを知ること、生命尊重の心を育み、命の大切さを学ぶことを目的に、水槽を使用し、環境を整備し、飼育観察を行った。

「家島に感謝する日」では、砂浜等の清掃活動を保護者の協力のもと行い、地域の一員としての自覚を高め、ふるさと意識の醸成を図った。

漂着ゴミを回収し、分別することで、その特徴を知り、海洋の環境問題が身近なふるさとの海にも影響していることに気づかせた。

「総合学習発表会」では、上記の学習や体験を通して、目の当たりにしてきた海洋プラスチックゴミ問題について探求学習を進めた。インターネットや書籍から情報を収集し、ICT 機器を活用して情報の共有を行った。12月に1度中間発表を行い、学習をさらに深め、共有する情報を増やすとともに、より分かりやすい伝わりやすい情報のまとめ方を工夫した。

